



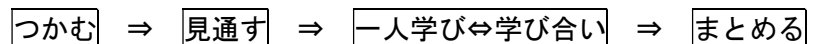
1 穂波東校小中合同研【学力向上部会Ⅰ】

1月22日（水）、「日々の授業の中で、活用力の育成を確かなものにするための取組」＝「穂波東授業スタンダード（5つのポイント）」について、学力向上部会Ⅰの協議会が行われました。

会には、市教委 岡松係長をアドバイザーとしてお招きし、学力向上部コーディネーターの嘉村教頭、田中主幹、古野主幹、代表者の辻先生、高宮先生が参加されました。

会では、「学習の進め方」の試案に対して、様々な角度から検討し、次のような意見が確認されました。

「学習の進め方」の流れ



① 学習の進め方の目的・方法を教師自身がしっかりと研修することが大切！

例えば「つかむ」では、子どもたちを「今日の学習では、こんなことを解決しよう。」とか「こんなことを考えよう。」等の状態に導きます。それでは、この「つかむ」は、子どもたちにとってどんな意味があるのでしょうか。また、「つかむ」状態にするためには、どのような話や教材の提示等が必要なのでしょう。このようなことを私たち教師がしっかりと理解し、その技能を身に付けておくことが大切となります。

② 「学習の進め方」を作ることで体が目的ではない。日々の授業で使えるものを作る！

「学習の進め方」が完成すれば、今後、すべての学級で掲示することになります。このような取組は他校でも多く見られます。しかし、中には「掲示して終わり」「日々の授業で使う事一切なし」といった事もあるようです。穂波東校では、日々の授業で各先生方が活用するような「学習の進め方」の完成を目指していきます。

③ 授業規律の確立こそが「学習の進め方」の土台となる！

特に本校では、授業規律の課題は重要な課題の一つです。そこで、「チャイム席を守る」等、穂波東校9年間を通して徹底させる授業規律のポイントをまとめいくことになりました。

2月14日（金）の小中合同研修会では、以上の内容に加え、学力向上部会Ⅱ、生徒指導部会Ⅰ・Ⅱからも報告・説明をしていただく予定ですので、よろしくお願いします。

2 小中合同生徒指導委員会

昨年度、生徒指導担当の先生方を中心に立ち上がった小中合同生徒指導委員会は、今月より月1回の定例とし、月行事の中にも位置付けていきます。

1月28日（火）に今月の委員会が開かれ、これからの穂波東校における「落ち着いた学校づくり」「不登校生の減少」等に向けた取組が確認されました。

具体的な内容については、近日中にグループウェアの掲示板を通じてお知らせしますので、ぜひご確認下さい。

提案された取組が成果に繋がるためには、穂波東校小学部・中学部の先生方が力を合わせて実行することが肝となります。先生方のご理解とご協力をよろしくお願いします。